

中学3年生 雅楽鑑賞

6月13日（金）に中3の道徳の授業で、土佐山内家宝物資料館のご紹介により繁藤雅陽会の6人の方に雅楽を演奏していただきました。

雅楽は、5世紀から9世紀にかけてアジア諸国から伝えられ、その後日本の音楽と影響し合ってきた“世界最古のオーケストラ”とも言われています。

舞を伴う「舞楽」から始まり、2曲目は「越天楽」。そして3曲目の「ふるさと」の演奏では、雅楽で使用されている楽器とピアノでは音の高さ（ピッチ）が異なるため、その違いについて説明していただいた後、本校音楽担当の高橋知沙先生のピアノ演奏と合わせて雅楽が奏でられました。

演奏の合間に、吹き物、打ち物、弾き物と、それぞれ7種類もの楽器を、希望の生徒に実際に触れさせてもらえる貴重な機会もあり、生徒たちにとって大変有意義な1日となりました。

【中3 雅楽授業 感想】

・演奏は普通の音とは違い、しかも体育館に響いている感じがすごく良かったです。びわを弾かせてもらった時、予想よりも重く弦も固くて、びわを弾いている人ってすごいなと思いました。また聞きたいです。

・今回、1300年以上も歴史のある雅楽の鑑賞をして勉強になりました。楽器の名前や舞いの由来など初めて聞くものでとても新鮮でした。最初は「地味なものかなあ」というイメージでしたが、文字通り「雅」な伝統だったと思いました。機会があればまた鑑賞したいです。

・ぼくは雅楽を聞いて指揮者がいないのにこんな演奏ができるのはすごく難しいことなんだと思いました。またこういう機会を作ってほしいと思います。そして実際にいろいろな楽器を触ってみたいと思いました。すごく新鮮な気持ちで聞けたのでよかったです。

・私は一番前の真ん中で見たので迫力がすごかったです。舞う人が出てきたときは怖かったけど、舞いを見ているとどんどんひかれていきました。楽器にも興味がすごくあるのでまた見られたらいいなと思います。実際に楽器に触られたのに積極的に行かなくて後悔をしています。雅楽をしてみたいというのが、将来の選択肢に入ったかな。

・私は個人的に雅楽がとても好きなので、とても楽しみにしていました。大河ドラマの中に舞いが出てくるので、とてもあこがれていました。生の演奏を自分の目と耳で聞けて本当に嬉しかったです。一つ一つの楽器の音が大きくてとてもかっこよかったです。長く受け継がれていっている雅楽、とても迫力があり驚きました。また機会があれば聞きに行きたいと思います。

・とても貴重な経験が出来てうれしいです。和音が出せる楽器は音もきれいだし、形もめずらしい物でした。どの楽器も今の音楽を支えるような元になっているんだなと思ったし、この日本の伝統的な音楽をこれからもずっと未来に受け継いでいってほしいと思いました。また雅楽を聞きたいです。



